

～安全確保・精度確保 の観点からお伝えすべき重要事項～

検診車での(集団検診)胃 X 線検査の 受診を希望される「聴覚障害」および 「疎通(言語など)に不安」のある方々のために・・・

※まず、こちら  重要事項を順にお読み願います。

- ① ご予約の際や禁忌事項(黄)パンフレット, 公式HP等 で、
下記の重要事項の説明を受けられた事はございますか？

“検査原理上の安全面・精度面の**不利益性**”

基本、スピーカーからの動作指示(息止め・体位変換指示)にご協力を
いただきながら、遠隔操作で制限時間内で行う検査である為、聴覚で
の疎通困難な場合(スピーカー指示での動作反応が困難な場合)、必然的に
伴う“検査原理上のリスク”(不利益性)がどうしても生じ得ます。

(※ X線被ばくを伴う検査の為、ご家族や通訳の方は検査室内の同伴は出来ません。)

指示が「的確」には伝わらないことで・・・

「瞬時」の動作反応が難しく・・・ ※画像要参照

【安全面】・・・体勢・息止め維持が不良・不可 となり



撮影台からの転落

過剰X線被ばく

【精度面】・・・画像不良(ボケ画像など)となり



病変(癌)の見落とし
(偽陰性)

読影判定不能
(無条件の要精検判定)

② 聴覚での疎通困難な方々に限らず、当センターの禁忌項目に該当する方々をはじめ、安全面・精度面の確保が難しい場合、またご本人様にとって有益な検査とならない可能性が高いと判断される方々においては、その不利益性を重視し、当センターの安全管理方針として、X線検査については、原則、設備的に安全面・精度面で保証可能な医療機関での受診(病院での代替え検査【例】)を一度はお勧めさせていただいております。

【例】 医師による胃内視鏡検査，専属介助スタッフ付き胃X線検査

(※ 上記の検査費用・負担に関しては、受診する医療機関に問合せ願います。)

③ 以上(①,②)の重要事項をご理解いただいた上で、検診車での胃X線検診の受診を慎重にご検討いただいております。

いかがなさいますか？

受診を希望する



当日は、「特例受診(安全重視の検査)」の運用を適用し特例で検査を致します。

受診を辞退する



この度は、胃がん検診に意欲と関心をお持ち頂きました事に敬意申し上げますと共にご理解頂きました事、感謝致します。

～安全確保・精度確保 の観点からお伝えすべき重要事項～

センターの安全管理方針にご理解、ご協力の程宜しくお願い致します

「胃 X 線検査で、聴覚での疎通困難だと、

(スピーカー指示での動作反応が困難)

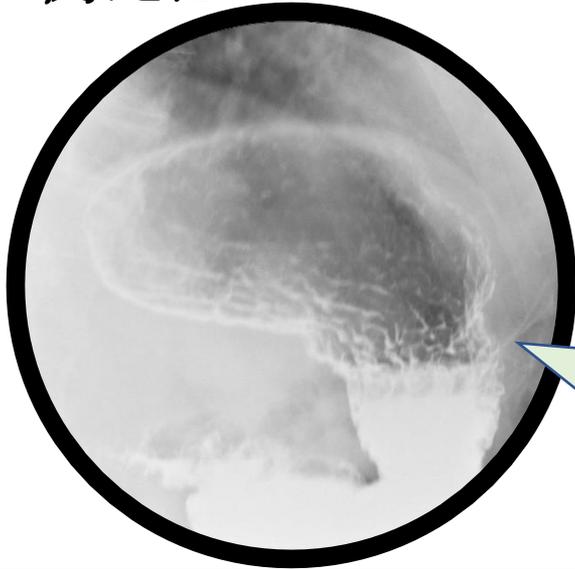
どんな写真になるの ? ?

どんなリスクがあるの ? ? 」

指示が「的確」には伝わらないことで

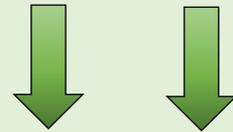
「瞬時」の動作反応が難しく

例えば



スピーカーでの息止め指示が伝わらない事で、呼吸停止のタイミングでシャッターが切れません

“ピンボケ画像”

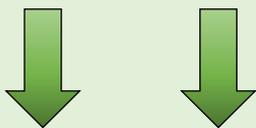


再撮影による

放射線被ばくの増大

スピーカーでの体位変換指示が伝わらないことで検査時間が必要以上に長くなり、バリウムが腸管に流れて行ってしまいます

“判定不能な画像”



読影困難による

要精検

